

2019年11月18日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

## 株式会社タウン WiFi が GMO インターネットグループにジョイン ～対応スポット・利用者 No.1<sup>(※1)</sup> のフリーWi-Fi 接続アプリとシナジーを創出～

GMO インターネット株式会社（以下、GMO インターネット）は本日 2019 年 11 月 18 日（月）、公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）自動接続アプリを展開する株式会社タウン WiFi（以下、タウン WiFi）の株式を取得し、GMO インターネットグループに迎えました。

今後、GMO インターネットグループが展開するプロバイダー事業（アクセス事業）およびインターネット広告事業の領域において、タウン WiFi と共に新サービスの開発をはじめとする事業シナジーの創出に取り組んでまいります。

### 【背景】

タウン WiFi は「通信をバリアフリーに」をミッションに掲げ、近くにある接続可能なフリーWi-Fi に自動接続することでシームレスな Wi-Fi 利用を実現するスマートフォンアプリ「タウン WiFi」を 2016 年 5 月から提供しています。「通信量を意識せず」モバイルインターネットを利用したいというユーザーニーズを追求してきた結果、現在「タウン WiFi」のアプリダウンロード数は 600 万にのぼり、月間利用者数は約 300 万人、対応スポットは 35 万カ所以上と、フリーWi-Fi 接続サービスとしては対応スポット数・ダウンロード数ともに No.1 となっています<sup>(※2)</sup>。

また、タウン WiFi では、「遅い Wi-Fi に接続しない」機能や「使えない Wi-Fi に接続しない」機能など、より良い Wi-Fi 体験をサポートする機能や、フリーWi-Fi に多い通信の傍受というセキュリティ面のリスクを解消するべく専用の VPN サービスを提供しています。その他にも、クーポン情報の通知など広告サービスの展開や、Wi-Fi の利用環境拡大に向けたフリーWi-Fi の設置交渉など、「タウン WiFi」アプリを軸にユーザーの利便性を向上する様々なサービスを展開しています。

一方、GMO インターネットグループは、1995 年のプロバイダーサービスの提供を皮切りに、「すべての人にインターネット」を掲げインターネット事業を開始しました。現在はインターネットインフラ事業を中心に、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業、仮想通貨事業を展開する総合インターネット企業グループとなっています。

この度 GMO インターネットグループは、タウン WiFi の掲げる「通信をバリアフリーに」の推進が、「すべての人にインターネット」につながるものであり、また、タウン WiFi が有する技術力と顧客基盤は、インターネット事業開始時から展開するプロバイダー事業（アクセス事業）および、インターネット広告・メディア事業の領域において大きなシナジーが見込めると考えました。そこで、この度タウン WiFi の株式を取得し、GMO インターネットグループへ迎えることといたしました。

(※1)・(※2) App Ape (<https://ja.appa.pe/>) およびタウン WiFi による調査（2019 年 10 月末時点）

## 【今後の取り組みについて】

GMO インターネットが提供するプロバイダーサービスは、Web マーケティングと OEM 販売によって利用者数を伸ばしています。2019 年 6 月時点の契約回線数は約 165 万件（前年同期比 17.7%増）にのぼるなか、継続的な事業成長に向けて、より多くのお客様のニーズにお応えする新たな通信サービスを検討していました。今後、GMO インターネットはタウン WiFi と共に、これまで培ったプロバイダー事業の営業力やマーケティング力を生かし、フリー-Wi-Fi の利用環境の整備と「タウン WiFi アプリ」の利用者拡大を推進してまいります。さらに、タウン WiFi が持つ通信サービスに関する技術力とノウハウを生かし、共同で新たな通信サービスの開発にも取り組んでまいります。

また、GMO インターネットグループはインターネット広告・メディア事業を展開しており、同分野のアドテクノロジー領域は、タウン WiFi と大きなシナジーが見込めます。同分野においては、GMO アドパートナーズ株式会社を中心となり、タウン WiFi が持つ広告枠の販売や、位置情報データを活用した新たな広告サービスの開発に取り組んでまいります。

## 【株式会社タウン WiFi】（URL : <https://townwifi.jp/company/>）

(1) 名 称	株式会社タウン WiFi
(2) 所 在 地	東京都港区芝大門 1-3-5 芝大門スクエア 5 階
(3) 代 表 者	代表取締役社長 荻田剛大
(4) 事 業 内 容	スマートフォン向けアプリケーションの開発・運営
(5) 資 本 金	3 億 6,125 万円（資本準備金含む）

## 【参考：日本のフリーWi-Fi 市場について】

日本のフリーWi-Fi 環境は、訪日外国人観光客の増加が予測される 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたニーズや災害時における通信手段の一つとして、政府の「公衆無線 LAN 環境整備支援事業」により整備が進められています<sup>(※3)</sup>。その結果、昨今では公共施設やカフェ、コンビニなど、フリーWi-Fi 環境を提供するスポットが増え、日本国内における通信環境の利便性は高まっています。それと同時に通信データの容量節約を目的としたフリーWi-Fi の利用ニーズも増加<sup>(※4)</sup>しており、訪日外国人の利用や災害時の備えに限らず、フリーWi-Fi は社会インフラとして必須なものになっています。

しかし、公共施設やカフェ、コンビニなどフリーWi-Fi を提供するスポットが増えるなかで、通信接続の認証方式が多様化しており、フリーWi-Fi に接続する度に会員登録やログイン操作を行わなくてはならないという煩雑さと、無料のため暗号化されていないうえ、誰でも利用できるというセキュリティ面でのリスクが課題となっています。

タウン WiFi では、「タウン WiFi アプリ」の提供を通じてこうしたフリーWi-Fi の課題を解決し、シームレスな Wi-Fi 利用の実現に取り組んでいます。

(※3)総務省「公衆無線 LAN 環境整備支援事業」(URL : [http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/top/local\\_support/kyouzinkasinsei.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/top/local_support/kyouzinkasinsei.html))

総務省「防災等に資する Wi-Fi 環境の整備計画」(2016 年 12 月策定)

(※4) 出典：ICT 総研「2018 年 公衆無線 LAN サービス利用者動向調査」

## 【ご参考】

- ・ 公衆無線 LAN（フリーWi-Fi）自動接続アプリを展開する株式会社タウン WiFi の株式取得（子会社化）に関するお知らせ（開示）

URL : [https://ir.gmo.jp/pdf/irlibrary/gmo\\_disclose\\_info20191118\\_1.pdf](https://ir.gmo.jp/pdf/irlibrary/gmo_disclose_info20191118_1.pdf)

- ・ 利用者数 No.1<sup>(※1)</sup> のフリーWi-Fi 自動接続アプリと連携！GMO アドパートナーズ、株式会社タウン WiFi と共同サービス開発（GMO アドパートナーズ プレスリリース）

URL : <https://www.gmo.jp/news/article/6592/>

以上

---

### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネット株式会社  
グループコミュニケーション部 広報担当 石井・長井  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

### 【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)	
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー	
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿	
事 業 内 容	■ インターネットインフラ事業	■ インターネット広告・メディア事業
	■ インターネット金融事業	■ 仮想通貨事業
資 本 金	50 億円	

Copyright (C) 2019 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.